

蔵前工業会大阪支部 2024 年度事業報告

一般社団法人蔵前工業会大阪支部は、蔵前工業会関西地区活動の要としての役割を認識し、支部事業並びに関西5支部の共同事業を企画しました。また、一橋大学 OB 会である如水会と蔵前工業会が主催している合同移動講座が 2024 年度は大阪で開催されることに伴い、ポスターの作成、配布先の選定と手配、関西4支部への参加要請、当日のスタッフ業務を精力的に行いました。

「支部総会」は事前のメールで欠席者の議決行使を集計し、その結果と実参加を纏めて対面での議事を行ない、見学会、懇親会も開催しました。役員会は Zoom 会議を中心に他支部総会や講演会へ、オンライン参加も含めて交流を続けました。会員を主対象とする「関西蔵前午餐会」、「関西蔵前懇話会」、「俳句会」の交流活動は、社会状況に合わせて参加人数を考慮して「西日本センター」での開催を適時に増やし、実参加とWebでの会員の交流深めるように運営いたしました。

1. 本部関係：東京工業大学と東京医科歯科大学が統合し東京科学大学が発足(2024 年 10 月)

2. 支部事業

(1) 大阪支部 2024 年度総会

① 2023 年度の事業報告(大軒幹事長)、収支決算報告(三宅会計幹事)監査報告があった。

<審議事項>

② 2024 年度事業計画案(大軒幹事長)、2024 年度予算案(三宅会計幹事)が審議され、出席者全員の賛成(27 名)で承認された。

③ 役員交代が行われ、飯島賢二氏(1982 年・博士・材料工学)が新たに支部長に就任した。

<見学会>

● 「ダスキンミュージアム」ミュージアム内のミスドミュージアムやおそうじ館で、ドーナツの歴史や清掃機具ノホコリ除去の進化などを見学した。

<来賓挨拶>

● 東工大 伊東利哉副学長(変わり続ける東京工業大学(財政基盤の拡充、ダイバーシティ&インクルージョンの推進)、東京医科歯科大学との統合について)

● 蔵前工業会 高桑監事(2022 年度収支、就職支援活動(K-SEEK の紹介)、東京医科歯科大学同窓会の紹介ほか)

(2) 大阪支部役員会

第1回(4 月 13 日、参加者 10 名):支部総会 5 月 25 日の日程及び議案の確定、見学会他の決定

第2回(7 月 13 日、参加者 11 名):横川善之様のオブザーバー参加、若手の参加依頼活動について

第3回(10 月 26 日、参加者 12 名):副支部長の後任、若手の参加依頼活動、来年度支部総会の日程など

第4回(1 月 25 日、参加者 13 名):第8回代議員選挙の特例申請、来年度大阪支部総会について

(3) 如水会と蔵前工業会が主催の合同移動講座(12 月 8 日、ホテルグランヴィア大阪開催)に関し、ポスターの作成、配布先の選定と手配、関西4支部への参加要請、当日のスタッフ業務を主体的に行った。

(4) 他支部主催の行事への参加により近隣支部との交流をはかった:兵庫県支部総会・講演会(4 月 6 日)、京滋支部総会・講演会(6 月 8 日)、和歌山県支部総会・講演会(7 月 27 日)、岡山県支部総会・講演会(9 月 7 日)、徳島県支部総会・講演会(9 月 14 日)に実参加した。

3. 関西5支部広域活動事業

- (1) **第 37 回関西蔵前講演会**:4 月 20 日(土)中央電気倶楽部(会場)の実参加と、Zoom ウェビナーを使用したハイブリッド方式で開催し、参加者は 134 名(実参加 60 名、Zoom 参加 74 名)で、懇親会も盛大に催された。
- (2) **関西蔵前午餐会**:4 月以降ほぼ毎月開催し、10 月には京都大学防災研究所の見学も行った。
- (3) **くらしか関西**:2024 年度は、小学校の理科特別授業が減少し、例年依頼の有る公民館他の子供教室も減少したため、新しい市町村のコミュニティーでの開催が複数有りましたが、全体として34教室にとどまりました。
- (4) **関西蔵前懇話会**:年4回(6 月 20 日、9 月 19 日、11 月 14 日、2 月 13 日)開催、毎回会員 2 名からの発表と意見交換
- (5) **その他同会行事**:ゴルフ会、俳句会、テニス会等が開催された。

以上